

ピース・ウイング長崎

平和のあゆみ

(令和4年度 事業報告)



ウクライナ支援チャリティコンサート～長崎から平和を～

公益財団法人 長崎平和推進協会

Nagasaki Foundation for the Promotion of Peace

Contents

公益財団法人 長崎平和推進協会	1
みんなで平和の輪を広げましょう！	
設立の意義	
沿革	
事業	
会員制度	
組織図	
会員制度について	2
寄附金について	2
会費及び寄附金の税額控除について	3
I 平和推進事業	
1 広報事業	4
2 啓発事業	5
3 継承事業	7
4 育成事業	9
II 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業	12
III 収益事業	14
理事・評議員・監事について	14
公益財団法人 長崎平和推進協会 この一年の動き	15

※当協会の愛称「ピース・ウイング長崎」は広報紙や全国公募ガイドなどを通して呼びかけ、決定したものです。「長崎から平和を訴えていくための翼となってほしい」という願いが込められています。



公益財団法人 長崎平和推進協会

みんなで平和の輪を
広げましょう！

設立の意義 ※設立趣意書から掲載

原子爆弾の惨禍を身をもって体験した長崎市民は、国境を越え、人種を超え、考え方の相違を乗り越えて、全世界に向かって恒久平和の実現を訴える責務があります。

全ての社会秩序の根幹は平和であり、平和でなければ、文化の向上も、科学の進歩も、経済の発展も望めません。しかし、現実の世界情勢は、核兵器の増加拡散が、また局部的な紛争や東西間の緊張がとどまることなく続いています。

長崎市は人類史上最後の被爆地でなければなりません。長崎市民は、全人類的な視野に立って、核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に寄与するとともに、人類の福祉に貢献することが必要であると考えます。

沿革

長崎市は、原爆被災都市ナガサキの使命として、従前から長崎市の固有事務として各種の平和推進のための施策を行ってきました。

しかし、行政独自では種々のあい路があることから、この施策をさらに効果的に施行するために、昭和58年2月、広く市民の参加を求め、初代理事長秋月辰一郎氏の「小異を残して大同に集まる」という理念のもと官民一体となった任意団体長崎平和推進協会を発足させ、被爆体験の継承をはじめ、平和に対する意識高揚のための事業に取り組んでまいりました。

長崎市民の悲願である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現という究極の理念達成のためには、さらに確固たる目的をもって永続性のある公益性の高い平和推進体制を樹立し、文化を基調とした事業を通じて、幅広い見識と高い知性の国際感覚に優れた市民を育成することが望まれます。

このような理由から昭和59年4月1日、財団法人長崎平和推進協会を設立しました。以来、長年にわたって被爆体験講話をはじめさまざまな平和推進事業を展開してきました。平成21年4月1日には、財団設立25周年を迎え、同年度中には記念式典や継承シンポジウムなど多彩な記念事業を行いました。

そうした中、100年ぶりともいわれる公益法人（財団法人・社団法人）の制度改革が行われることになり、平成20年12月1日には公益法人改革関連3法が施行されました。当協会は、業務の内容や組織の性格からも公益財団法人に移行することを目指し、2年間ほどの準備を経て、平成23年4月1日に公益財団法人として設立することができ、新たな歩みを始めました。

事業 ※定款から掲載

- (1) 平和に関する諸問題の調査研究
- (2) 原爆被災並びに平和に関する資料の収集、整理、活用及び情報発信
- (3) 被爆体験の継承並びに平和に関する講座、講演会等行事の開催
- (4) 国際平和機関との連携交流
- (5) 被爆体験の継承や平和意識高揚のための助成事業
- (6) 平和に関する出版物の刊行・頒布及び受託販売
- (7) 平和意識の普及に係る物品等の製作・販売
- (8) 法人の目的に適合する諸施設の管理運営等に関する受託事業
- (9) その他法人の目的を達成するために必要な事業

会員制度

(令和5年3月31日現在)

会費 維持会員（個人）	年会費	3,000円以上
賛助会員（団体・個人）	年会費	1口10,000円
学生会員	年会費	1口1,000円
（学生会員は令和5年4月1日から年会費無料）		

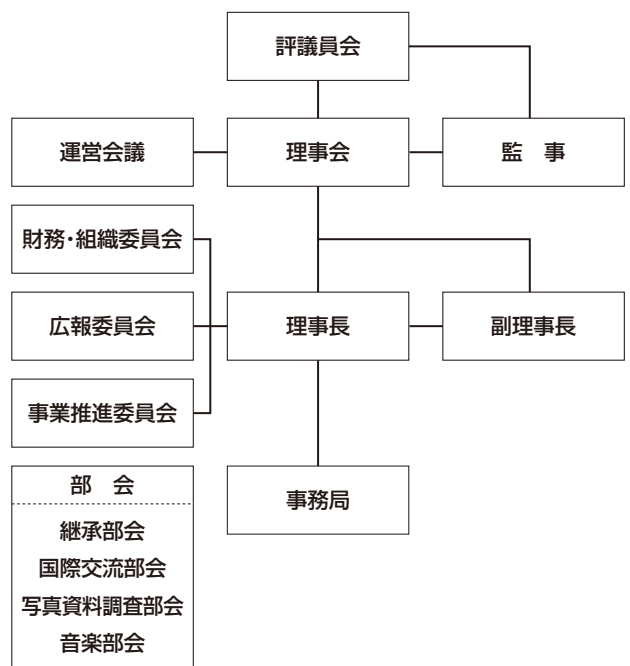
会員による部会活動

会員が協会の事業目的を広く周知啓発するとともに円滑な事業遂行に寄与する。

- ①継承部会
- ②国際交流部会
- ③写真資料調査部会
- ④音楽部会

組織図

(令和5年4月1日現在)





会員制度について

核兵器の恐ろしさや平和の尊さを次の世代に伝えていくために、協会では様々な平和への取り組みを行っています。この活動は、長崎県・市からの補助金等の他、会員の皆様からいただいた会費に支えられています。

会員制度には、個人の方を対象とする「維持会員」、団体・個人の方を対象とする「賛助会員」、「学生会員」の3つがあります。会員募集は随時行っており、協会ウェブサイトでの案内の他、イベント等でのチラシ・リーフレット配布等で周知活動を行っています。

【会員制度と登録者数（令和5年3月31日現在）】

会員制度	年会費	登録者数
維持会員	3,000円以上	1,057
賛助会員	1口10,000円	172
学生会員	1口1,000円	11

※学生会員は令和5年4月1日から年会費無料



長崎平和推進協会シンボルマーク

平和のシンボル「はと」を、官と民を示す両手が受け止めている様子を表しています。

【会員特典】※学生会員はエコバッグをお送りしません。会報「へいわ」はEメールで送ります。

- ・会員証とエコバッグ送付
- ・会報「へいわ」、ブックレット「平和のあゆみ」送付
- ・協会主催の講演会等への優先来場
- ・出版物やオリジナル商品（P14参照）10%オフ
- ・長崎原爆資料館内「ピースカフェ」5%オフ
- ・長崎の感動する中華料理店 寶來軒でのプチプレゼントサービス
- ・i+Land Nagasakiでの天然温泉大浴場+岩盤テラス利用料金を大人500円、小学生300円に割引（スパテマパーク利用時はいずれも+200円）
- ・Studio One Nagasakiでの証明写真50%オフ、記念撮影30%オフ
- ・御菓子司 松貴堂での購入代金5%オフ



寄附金について

当協会では、平和関連事業に取り組んでいくために、広く皆様からの寄附金を募集しています。

令和4年度は、下記の方々よりご寄附をいただきました。皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。



寄附金について詳しくはコチラ

令和4年度 寄附者一覧（敬称略・金額順）

- ・故 福野喜代子（遺族）313,000円
- ・故 中村一俊（遺族）100,000円
- ・（医）大同会 50,000円
- ・故 熊本健（遺族）30,000円
- ・小嶋光広30,000円
- ・長崎トヨペット（株）25,000円
- ・長崎平和施設管理グループ 25,000円
- ・（株）十八親和銀行20,000円
- ・（医）博生会大久保医院20,000円
- ・深堀讓治20,000円
- ・四田則子20,000円
- ・（医）良幸会ツダ眼科20,000円
- ・白鳥純子15,000円
- ・（有）ナカノコーポレーション13,500円
- ・（株）インテックス10,000円
- ・上西和紀10,000円
- ・川上正徳10,000円
- ・（社）五蘊会10,000円
- ・（医）春秋会長崎南クリニック10,000円
- ・鈴木達治郎10,000円
- ・田崎昇10,000円
- ・寺崎歯科医院10,000円
- ・朝永整形外科10,000円
- ・松本由美子10,000円
- ・森田博満10,000円
- ・山中弘幸10,000円
- ・吉田照枝10,000円
- ・（株）朝日ネット5,000円
- ・（株）カステラ本家福砂屋5,000円
- ・Studio One Nagasaki5,000円
- ・（株）デルコ5,000円
- ・匿名寄附16件62,994円

【合計 914,494円】



賛助会員一覧（団体・法人 敬称略）

ご協力に深く感謝いたします

旭丘高校の教育を守る会／朝日地区民生委員児童委員協議会／(株)アルテック情報システム／(株)イシマル
 ／(株)一広／(株)イナヅマ電気工事／(株)岩永印刷所／岩屋地区民生委員児童委員協議会／(株)インテック
 ス／(学)ヴィアートル学園 洛星中学校／(株)V・ファーレン長崎／(株)NSNプランニング／(株)NDKCOM
 ／NBC情報システム(株)／(株)NBCソシア／(株)エビス堂／扇精光ホールディングス(株)／オックス総合
 リース(有)／オリエンタルビル管理(株)／オリエント産業(株)長崎支店／(株)オリオン電防／核戦争防止国
 際医師会議 長崎県支部／核兵器廃絶・平和建設 長崎県民会議／勝山地区民生委員児童委員協議会／カト
 リック長崎大司教区／上長崎地区民生委員児童委員協議会／機電プラント工事(株)／(株)九州広告／(一財)
 九州電気保安協会／九州労働金庫／Q-bicソリューションズ(株)／崎陽電気(有)／協和機電工業(株)／(株)
 クイックプリント／(医)倉田醫院内科婦人科／(一財)クリーンながさき／(医)行清会 鋤先医院／KNT-CT
 ホールディングス(株)／原水爆禁止長崎県協議会／原水爆禁止長崎県民会議／原爆被爆者特別養護ホーム
 かめだけ／光源寺／小神立神地区民生委員児童委員協議会／後藤俊一事務所／西部ガス労働組合 長崎支部
 ／坂本地区民生委員児童委員協議会／(株)三工電機／(株)JR長崎シティ／自治労長崎市役所職員労働組合
 連合会／(株)事務機のミカドヤ／(株)ジャック・インターナショナル／(株)十八親和銀行／純心中学校・純心
 女子高等学校／常在寺／(株)城保安警備／情報労連長崎県協議会／昭和地区民生委員児童委員協議会／(株)
 昭和堂／ジョンソンコントロールズ(株)／新興善地区民生委員児童委員協議会／(株)スターライト／(有)正
 文社印刷所／SEVEN HEARTS／全国公益法人協会／銭座地区民生委員児童委員協議会／(株)大和総業／
 高尾地区民生委員児童委員協議会／たちばな信用金庫長崎中央支店／(株)司コーポレーション／(株)ディー
 プリンク／田園調布雙葉中学高等学校 学校行事部／土井首地区民生委員児童委員協議会／桃源寺／東武
 トップツアーズ(株)長崎支店／(一社)東友会／磨屋地区民生委員児童委員協議会／(一財)長崎YMCA／
 (株)長崎ヴェルカ／(株)長崎映像社／(株)長崎ガードシステム／(株)長崎環境美化／(株)長崎銀行／長崎県
 映画センター／(一財)長崎県教育会／長崎県建設産業労働組合／(公財)長崎原子爆弾被爆者対策協議会／長
 崎県生活協同組合連合会／(一財)長崎県地域婦人団体連絡協議会／長崎原爆遺族会／長崎県被爆者手帳友の
 会／長崎県平和運動センター／(一社)長崎国際観光コンベンション協会／(株)長崎国際テレビ／長崎市管工
 業協同組合／(一財)長崎市勤労者サービスセンター／(福)長崎市社会福祉協議会／長崎市小学校校長会／
 (公社)長崎市シルバー人材センター／長崎市中学校校長会／長崎自動車(株)／(一社)長崎市保育会／長崎市
 役所従業員組合／長崎市役所職員生活協同組合／長崎商工会議所／(株)長崎消毒社／長崎市老人クラブ連合
 会／(株)長崎新聞社／(一社)長崎青年会議所／(一社)長崎青年協会／長崎西彼農業協同組合／長崎ダイヤモ
 ンドスタッフ(株)／長崎地区労働組合会議／長崎電化サービス社／長崎電気軌道(株)／(株)ながさきプレス
 ／長崎放送(株)／(有)ナカノコーポレーション／滑石地区民生委員児童委員協議会／(株)日工／日本通運
 (株)長崎支店／日本放送協会 長崎放送局／日本空調サービス(株)九州支店／日本図書輸送(株)福岡営業所
 ／日本労働組合総連合会長崎県連合会／(株)橋本商会／(医)康仁会 林医院／(特非)ピースデポ／ピース
 ポート／(株)日立ビルシステム／(一財)広島国際文化財団／(株)福広／(有)宝栄印刷／寶來軒／丸美産業
 (株)／三重地区民生委員児童委員協議会／ミライト(株)／(福)純心聖母会 恵の丘長崎原爆ホーム／山里地
 区民生委員児童委員協議会／(株)大和屋／(福)友愛会長崎リハビリテーション／(社福)基督教友愛館 友愛
 富士見町保育園

会費及び寄附金の税額控除について

当協会は特定公益増進法人に該当するため、協会会費・寄附金は、所得税・法人税等の税額控除の対象となります。確定申告時に、「会費領収証（振替払込請求書兼受領書）」または「寄附金領収書」とともに、当協会所管庁が発行した「税額控除に係る証明書」をご提出ください。

詳しくは、協会ウェブサイトをご覧ください。事務局までお尋ねください。



I 平和推進事業

1 広報事業

① 会報「へいわ」の発行（年4回）

令和5年3月現在 177号発行

協会の事業活動や平和に関する最新情報を提供するとともに、会員のコミュニケーションを図るための機関誌として、会報「へいわ」を発行しています。

会員や関係各機関への送付のほか、広く市民の平和意識の高揚を図る観点から、多くの市民が閲覧できるように、100号以降を協会ウェブサイトに掲載しています。

1回あたりの発行部数 2,300部（A4判8ページ）



② ブックレット「平和のあゆみ」の発行（年1回）

協会が行った事業内容等をまとめたブックレット「平和のあゆみ」を毎年発行し、会員や関係各機関へ送付しています。

昭和61年から平成16年までは協会設立以降の事業等を紹介するA5判でしたが、平成17年度からは1年間の出来事を中心とする内容に改めました。

1回あたりの発行部数 1,700部（A4判16ページ）



③ 広報活動

【情報BOXの発行（月1回）】 令和5年3月現在 271号発行

会報「へいわ」発行の合間に、イベント開催予定などの最新情報の他、実施した行事の報告などを掲載した「情報BOX」を、理事・監事・評議員、部会員などに送付しています。

協会ウェブサイトでも閲覧できます。

1回あたりの発行部数 約150部（A4判 両面1ページ）



【協会会員入会案内リーフレットの作成】

協会の事業内容の紹介とともに、事業活動の状況や会員の特典などを説明した「協会会員入会リーフレット」を作成しています。会員拡大を図るため、イベント等で配布しています。

【ウェブサイト】 令和5年4月1日リニューアル

協会の設立趣旨や事業概要などの紹介、被爆体験講話や平和案内人をはじめとする平和学習の申込方法の案内の他、会報「へいわ」やブックレット「平和のあゆみ」などのバックナンバーを掲載しています。

令和4年度に全面的に改修し、多言語対応（16か国語）としました。



協会サイト
二次元コード

【SNS等での情報発信】

LINEでは、協会のイベント案内など最新のニュースの他、会報「へいわ」や情報BOXに間に合わなかったお知らせなども案内しています。また新型コロナウイルス感染症の感染拡大時や台風などの自然災害時は、平和案内人等の活動状況をお知らせします。

Instagramでは、イベントやグッズ等の紹介、青少年ピースボランティア等の活動紹介等を行っています。また「いま世界に届けたい被爆者の言葉」企画では、17人の被爆者のメッセージを掲載しています。

YouTubeでは、被爆者証言映像「8月9日の記憶」や、ピースボランティア「千羽鶴」合唱動画、平和案内人らによる碑めぐり動画などを公開しています。

●LINE、Instagram、YouTubeの二次元コードは、裏表紙に掲載しています。





2 啓発事業

① 平和学習（被爆体験講話）の実施

長崎市内で平和学習に取り組む小中高校や団体などから依頼を受け、被爆者（継承部会員）が自らの被爆体験や平和の大切さをお話する「被爆体験講話」を実施しています。

令和4年度は、これまで新型コロナウイルス感染症拡大防止で延期や中止になっていた修学旅行が例年通りに実施されたため、被爆体験講話もほぼ例年の実施件数に戻りました。

新型コロナウイルス感染対策として、マスクの着用や、講話者との距離をとりながら、被爆体験講話を実施しました。



被爆体験講話の様子

被爆体験講話の年度別件数

年 度	講話件数
平成29年度	1,253
平成30年度	1,191
令和元年度	1,168
令和2年度	495
令和3年度	695
令和4年度	1,092

令和4年度 講話件数・受講人数 内訳

区 分	講話件数			受講人数
	全体	うち市内	オンライン	
小 学 校	452	52	0	37,990
中 学 校	347	21	1	44,211
高等学校	239	2	4	39,666
一 般	54	0	1	3,169
計	1,092	75	6	125,036

※表中の「うち市内」は、長崎市内の小中学校・中学校・高校・一般の講話件数
 ※ピースネットの実績は、P13をご覧ください。

【長崎県主催事業 被爆体験講話者派遣事業】

長崎県が主催する「被爆体験講話者派遣事業」では、被爆者（継承部会員）が県内市町の小中学校や県内外の大学を訪れ、被爆体験をお話ししています。

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した時期は、オンラインで実施しました。

県内市町（小中学生対象）

派遣市町	実施日	受講人数	派遣市町	実施日	受講人数
佐世保市	7月28日	100	五島市（オンライン）	6月21日・7月6日	180
諫早市	7月14日	76	西海市	6月15日・7月13日	612
大村市	9月9日	859	雲仙市	7月15日	200
松浦市	7月11日	230	南島原市	7月13日	268
対馬市	6月24日	445	長与町	7月14日	270
壱岐市	7月12日	200			

県内外大学（留学生対象）

派遣大学	実施日	受講人数	派遣大学	実施日	受講人数
九州大学	6月26日	200	上智大学（オンライン）	10月24日	30
県立大学 純心大学 （オンライン）	2月20日	10			



【被爆者証言ビデオ】

継承部会員の被爆場所や当時の自宅周辺などを訪れ、被爆前の生活や被爆直後の様子、家族の話、被爆後の暮らしなどを語る「被爆場所等で語る被爆証言8月9日の記憶」を作製しています。

このビデオは、平和学習を実施する学校・団体等へのDVD無料貸出の他、協会YouTubeで公開しています。

令和4年度 撮影者

築城昭平 早崎猪之助 森田博満 門隆

(令和2年度からの累計：12人)



2 原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）の貸出

修学旅行などの事前学習の他、写真展の開催などに役立ててもらうため、原爆被災写真パネル・DVD（ビデオ）を無料で貸し出しています。

令和4年度より、新しい写真パネル2種類6セットと、被爆者証言ビデオの貸し出しを開始しました。

令和4年度 写真パネル・DVD（ビデオ）貸出実績

区 分	写真パネル	DVD（ビデオ）	
	件数	件数	本数
小学校	4	10	23
中学校	1	16	35
高等学校	0	15	38
一般（自治体等）	12	23	45
計	17	64	141

※1回の貸出上限は、
写真パネル…1セット
DVD（ビデオ）…3本まで
となっています。
事前の申し込みが必要です。

3 講演会等の開催

会員及び市民に世界恒久平和への諸問題について認識を深めてもらうため、講演会を実施しています。

2月の講演会ではウクライナからの避難学生支援のため、募金を行いました。

また、長崎市の「平和の文化キャンペーン」に参加し、イベントを開催しました。

【講演会】

8月13日 「音楽と、朗読と、言葉で紡ぐ ピーター・タウンゼントの平和への想い。」 約200人来場

10月22日～28日 「森田孝子書道展 平和への願いを書に託して」 約3,260人来場

2月9日 「ウクライナ支援チャリティーコンサート～長崎から平和を～」 約350人来場

【平和の文化キャンペーン】

9月3日、10月8日、11月19日 「ラウンジコンサート2022 Music Garden Pray & Play」 約150人来場

4 国連軍縮週間「市民のつどい」

10月24日から1週間の「国連軍縮週間」に合わせ、「市民のつどい」を開催しています。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の予防のため、戦時食コーナーなど飲食物の提供は中止しましたが、原爆写真パネルの展示やミニコンサート、折り鶴やエコ風船コーナーを実施し、初めての試みとしてチンドン屋「かわち家」による平和の紙芝居を上演しました。

多くの子どもたちや観光客で賑わい、平和について考えてもらう日になりました。



令和4年度 開催内容

開催日	10月29日（土） ※軍縮週間中の土曜日、世界平和祈念市民大行進に合わせて実施
場 所	長崎原爆資料館前階段下広場
コーナー	平和の紙芝居、エコ風船、折り鶴、原爆写真パネル展示、ミニコンサート、二胡演奏など



3 継承事業（長崎市からの受託事業）

① 県外原爆・平和展の開催

長崎県外の方々に、原爆の悲惨さや平和の大切さを知ってもらい、長崎市民の核兵器廃絶の願いを伝えることを目的に、実施しています。

令和4年度は、鳥取県米子市と国際基督教大学（東京都三鷹市）で開催しました。

米子市では、被爆体験講話会に加え、写真資料調査部会長による展示解説も行いました。

国際基督教大学においては、大学での展示は初開催となり、学生が関連イベント等を企画し運営に携わりました。

令和4年度 開催実績

鳥取県米子市	8月2日～8月14日（544人来場）
国際基督教大学	2月6日～2月10日（260人来場）



② 語り継ぐ被爆体験（家族・交流証言）推進事業

被爆者の被爆体験を語り継ぐ「家族・交流証言者」を育成し、被爆体験の次世代への継承を推進します。令和4年度も「託したい方」と「受け継ぎたい方」を募集する交流会を実施し、聞き取りや講話原稿・資料作成等を支援する他、パソコン研修や話し方講座など様々な研修も実施しました。

派遣事業では長崎市内に派遣した他、毎月第2木曜日、第4日曜日は原爆資料館内での定期講話を実施しました。

令和4年度 実施状況

交流会：9月17日（参加者：10人）
登録者：104人（講話可能者51人、研修者53人）
講話実施回数：125回（長崎市内）



③ 青少年ピースボランティア育成事業

中学生を除く15歳から30歳未満の青少年が被爆の実相や戦争について学び、様々な視点から平和について考え、行動することにより、被爆体験の継承と平和意識の高揚を図ります。

令和4年度は8月9日の平和祈念式典でのボランティア活動の他、3年ぶりとなる対面での青少年ピースフォーラムの企画・運営、沖縄研修、北九州バスツアーや自主企画グループの活動などを実施しました。



令和4年度 登録者数

121人（高校生 75人、大学生 32人、社会人 7人、その他 7人）



4 青少年ピースフォーラム

8月9日の平和祈念式典にあわせて全国の自治体が派遣する平和使節団の青少年と、地元長崎の青少年とが一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し、交流を深めることで、平和意識の高揚を図ります。令和4年度は、3年ぶりの対面開催となり、8月8日・9日の2日間にわたり実施、29自治体から251人が長崎に集まりました。

また、令和3年度に引き続き、国内外から参加者を募り、「千羽鶴」リモート合唱動画を配信しました。

令和4年度 開催実績

実施日：8月8日・9日

参加者：29自治体 251人（長崎市含まず）

長崎市（青少年ピースボランティア）56人



「千羽鶴」合唱動画は
こちらから

5 青少年平和交流（少年平和と友情の翼）

3年に1回、長崎市内の中学生を対象として、沖縄県内の戦跡や平和関連施設の見学、那覇市の中学生との交流や双方の戦争被害について伝え合うなど、「学び、伝える」研修を行います。

令和4年度は、長崎市内の中学生29人を沖縄県に派遣しました。研修リーダーとして青少年ピースボランティアも参加し、事前・事後学習などの補助を行いました。

令和4年度 開催実績

実施日：8月18日～20日



6 平和学習発表会

長崎市内の中学生が一堂に会し、日頃取り組んでいる平和学習の成果などの発表をとおして、各学校における生徒の平和への取り組みを発展させる機会とすることを目的に、平成18年度から実施しています。

市内の中学校23校から、51人の生徒が参加し、各学校での平和への取り組みについて発表し、意見を交わしました。また、市内で取り組まれている平和活動についても、沖縄派遣事業「少年平和と友情の翼」の参加者や、青少年ピースボランティアから発表がありました。

令和4年度 開催実績

実施日：8月25日





4 育成事業

① 部会活動

【継承部会（部会員 32人）】

自らの被爆体験や平和への思いなどを、「被爆体験講話」として話しています（詳細は5ページ）。講話以外にも、部会内に事業班を作り、活動しています。

【国際交流部会（部会員 14人）】

毎月例会を開催。主に外国の方を招いて話をさせていただいています。

令和4年度は、ピカソの絵画の鑑賞の仕方など多岐に渡る話題で、目から鱗が落ちることがしばしばでした。相互理解を深めることができ、英語のListeningの練習にも役に立てることが出来ます。これを機に通訳の練習にも役立ててはいかがでしょうか。会員募集中です。気軽にお出で下さい。



【写真資料調査部会（部会員 9人）】

被災写真や平和関連資料の収集と調査・整理とともに、定期的に写真展を開催しています。

令和4年度の写真展は7月25日から8月5日まで、「ロシアによるウクライナ侵攻で、核兵器が使われかねない危機に直面している今だからこそ、あの日の惨状を振り返る」をテーマに国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館で開催しました。



【音楽部会（部会員 16人）】

音楽を通じて平和を訴えることを目的として活動しています。

令和4年度は、8月に「心に響く音楽に であいふれあい いっしょに笑顔」をテーマとして「長崎平和音楽祭」を開催し、大成功に終わりました。

そして、3年ぶりに「市民のつどい」に参加し、平和の歌の合唱で、心の安らぎや、楽しさ、賑わいを提供しました。



② 平和案内人の育成と派遣

長崎原爆資料館や国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館、周辺の被爆建造物等のガイドを行う「平和案内人」を育成し、現在、第1期生から第7期生まで160人が登録・活動しています。長崎原爆資料館正面玄関で待機する「常駐ガイド」の他、学校・個人・団体等からの「資料館予約ガイド」、「碑めぐりガイド」の事前申込に対し、希望に応じて案内しています。

また、研修として「全体会」を年に2～3回開催する他、各班による自主研修を実施しています。

令和4年度は、10年ぶりに広島視察研修を実施し、1～7期生40人が参加しました。

◆令和4年度 活動実績

区分	申込件数	利用者数	ガイド活動人数(延)
常駐ガイド	1,398件	4,287人	1,003人
資料館予約ガイド	60件	1,503人	188人
碑めぐりガイド	213件	7,757人	838人
合計	1,671件	13,547人	2,029人



※常駐ガイドは7月21日～9月28日まで活動中止

◆令和4年度 全体会

5月14日 「私が見てきた素顔のウクライナとロシア」 講師：高橋純平

12月10日 「核兵器廃絶にむけて長崎からできること」 講師：川崎哲、中村涼香



3 国際青年平和交流事業

長崎県内の若者から「自分たちが考える国際・平和プログラム」をテーマに企画を募集し、その活動を支援するこの事業は、令和4年度から名称を変更し、募集対象や時期なども見直しを行いました。

令和4年度は、2団体を認定しました。

【令和4年度 認定事業】

活水高等学校 平和学習部

長崎で被爆した少年少女たちの証言を、3D地図ソフト「RE:EARTH」上で日本語と英語で読めるようにしました。

長崎純心大学 Green Pieces

予定していた国際交流を兼ねた演奏会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止。歌唱動画を作成し、SNSで発信しました。

4 共催・協力・後援等事業

令和4年度 共催事業

事業名	主催団体	開催期間	開催場所
第32回ながさき平和大集会	核兵器廃絶地球市民 長崎集会実行委員会	6月12日	長崎原爆資料館ホール
第37回長崎平和音楽祭	長崎平和音楽祭実行委員会	8月6日	長崎原爆資料館ホール
第14回 ～語り合おう in Nagasaki～ 外国人による日本語弁論大会	外国人による日本語弁論大会 実行委員会	10月16日	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館 交流ラウンジ

令和4年度 協理事業

事業名	主催団体	開催期間	開催場所
ナガサキ・土崎被爆証言講話会	秋田市	7月23日 7月15日～28日 (展示)	土崎みなと歴史伝承館
"Convergence of Peace Activities" テクノロジーでつながる平和活動展	東京大学大学院 渡邊英徳研究室	8月6日・7日	東京大学 ニューヨークオフィス

令和4年度 後援事業

事業名	主催団体	開催期間	開催場所
へいわの絵	生活協同組合ララコープ	5月23日～8月23日	長崎ブリックホール 2階ギャラリーほか
継承フォトワークショップ	Studio One Nagasaki	6月1日～11月30日	長崎市
ピースシネマ&コンサート	長崎県映画センター	6月18日 7月18日 7月24日	諫早文化会館中ホール アルカスSASEBOイベントホール 長崎市民会館ホール
第69回 長崎原爆忌平和祈念俳句大会	第69回長崎原爆忌平和祈念 俳句大会実行委員会	7月23日	長崎原爆資料館 平和学習室
ナガサキ映画と朗読プロジェクト	ナガサキ映画と朗読 プロジェクト実行委員会	7月23日～24日	長崎原爆資料館 ホール



事業名	主催団体	開催期間	開催場所
第4回長崎平和祈念茶会	一般社団法人茶道裏千家淡交会 長崎支部	8月6日	長崎原爆資料館 いこいの広場
平和の祈りキッズゲルニカ in ながさき 国際子ども平和壁画展	長崎親善人形の会 「瓊子の会」	8月6日～31日	原爆落下中心地公園内 下の川
第60回原爆忌文芸大会	NPO法人長崎国際文化協会	8月7日 8月1日～10日 (展示)	長崎ブリックホール 2階ギャラリー
2022ピースアクション in ナガサキ 虹のひろば	長崎県生活協同組合連合会	8月8日	長崎市民会館文化ホール
被爆77年 連合平和2022ナガサキ集会	日本労働組合総連合会	8月8日	長崎県立総合体育館
国際平和映像祭2022	一般社団法人国際平和映像祭	9月18日	長崎原爆資料館ホール
第10回平和首長会議総会	平和首長会議、広島市	10月19日・20日	広島国際会議場
写真展 「生きて、繋いで-被爆三世の家族写真-」	被爆三世 これからの私たちはProject	11月3日～16日	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館 交流ラウンジ
平山郁夫展～日本画で旅する道～	公益財団法人 佐世保地域文化事業財団 佐世保市博物館島瀬美術センター	11月3日～12月25日	佐世保市博物館 島瀬美術センター
川村奈美子ピアノリサイタル ～平和を願って～	一般社団法人 アルテ・クラシカ協会	11月5日	長崎大学 創楽堂
長崎国際平和映画祭	国立長崎原爆死没者追悼 平和祈念館	11月6日	出島メッセ コンベンションホール
第44回 長崎YMCA 平和の使者クリスマスカードコンテスト	長崎YMCA 長崎ワイズメンズクラブ	11月26日～12月25日	長崎YMCAほか
日米人形交流95周年記念シンポジウム 「平和・未来への伝言～ナガサキから～」	長崎親善人形の会「瓊子の会」	2月11日	長崎原爆資料館ホール
生きてつないで2023NAGASAKI	被爆三世・四世プロジェクト これからの私たちは	3月29日～4月2日	石丸文行堂 イベントホール

5 秋月グラント

平成10年、当協会設立15周年を機に「ナガサキ平和創設グラント」を創設し、平和意識高揚のための事業などを行う団体や個人を助成してきました。

平成16年、協会の初代理事長である故・秋月辰一郎氏を顕彰しようという機運が高まり、「秋月グラント」と名称を改め、多くの方々に助成制度を利用していただけよう門戸を広げました。

令和4年度 秋月グラント事業助成状況

団体・個人名	事業名称	実施期間・場所
Studio One Nagasaki	継承フォトワークショップ	6月～11月 長崎市
竹田信平 アンチモニュメント・リサーチ・コレクティブ	グラウンド・ゼロから ～新たな継承へのハンドブック～	6月～2月 長崎県美術館
「平和の旅へ」合唱団	「平和の旅」のDVD 制作・普及	6月～9月 長崎市
Pray for Peace Collection 2022 in 長崎 実行委員会	Pray for Peace Collection 2022 in 長崎	8月9日 長崎県庁



II 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業（主な事業の紹介）

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づいて平成15年に開館した「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」の施設管理と事業運営を国から受託し、様々な事業を行っています。

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の徹底を行い、来館者の安全対策を図りました。

原爆死没者の氏名・遺影の登録及び死没者名簿の保管

原爆死没者を追悼するとともに、永遠の平和を祈念するため、氏名・写真（遺影）を収集し、登録のうえ館内で公開しています。また、原爆死没者の氏名を記載した「原爆死没者名簿」を追悼空間に保管しています。

令和4年度は、大分県・宮崎県・鹿児島県に協力依頼を行うとともに、長崎県・市と連携して、氏名・遺影の登録に取り組みました。

令和4年度実績：334人（累計10,569人）



追悼空間

被爆体験記などの収集・整理・公開

原爆の惨状を多くの人に伝えるため、被爆者が書かれた被爆体験に関する手記・日記・書簡や、遺族・友人らによる追悼記などを集めています。収集した被爆体験記は、遺影・手記閲覧室内の情報端末機器などで公開・展示しています。

令和4年度実績（体験記収集）：69人分（累計586人分）

企画展の開催

所蔵する被爆体験の中からテーマを定めて選出し、英語・韓国語・中国語に翻訳し、展示をします。

令和4年度は、祈念館の収集事業の柱の一つである「原子爆弾死没者氏名・遺影（写真）登録」された方の被爆状況を体験記として紹介しました。

令和4年度実績：「ご遺影は語る」（2月23日～3月3日）



被爆体験記執筆補助

「被爆の記憶を体験記として残したいけれど、自分一人では文章にまとめられない」という被爆者の方を対象として、平成17年度から聞き取りと代筆を実施しています。

令和4年度実績（聞き取り）：64人（累計166人）

被爆者証言ビデオ等の制作

被爆の実相を後世に伝えていくために、被爆体験に係る証言ビデオを製作・収集し、館内で閲覧に供するほか、「グローバルネット」等で公開しています。

令和4年度実績：国内22人、海外2人（累計519人）

被爆体験記朗読ボランティア「被爆体験を語り継ぐ 永遠の会」育成・派遣

被爆体験記の朗読によって被爆体験を継承することを目的として、平成23年度から実施しています。

令和4年度は、常駐朗読・毎月9日開催の「9日を忘れない」を開催しました。また、市内の小中学校（各2校）に朗読指導を行うとともに、若者参画のためのU-25の募集を開始しました。

令和4年度実績：常駐朗読89日、派遣朗読36回





家族・交流証言者等派遣

被爆の実相、平和への想いを次世代に語り継ぐため、平和30年度から「家族・交流証言者」および「被爆体験記朗読ボランティア」を全国へ無料で派遣しています。令和2年度からは「被爆者」の方の派遣も開始しました。

令和4年度実績：145件（被爆体験講話22件、家族・交流証言講話100件、被爆体験記朗読会23件）

平和ボランティア育成外国語講座

原爆資料館や追悼平和祈念館などを外国語で案内するボランティアガイドを育成しています。

令和4年度実績（修了者）：英語11人、韓国語4人、中国語7人

ピースネットの実施

祈念館と遠隔地の学校や団体などとインターネット会議システムで結び、被爆体験講話等を実施しています。令和4年度も、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、修学旅行で長崎に来ることができない近隣の学校も対象に実施しました。

令和4年度実績：40回

海外原爆展の開催

被爆の実相を広く世界に伝えるため、被爆60周年（平成17年度）から実施しています。

令和4年度は、米国ホノルル市で開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、職員および被爆者の渡航は中止し、展示のみ実施しました。また、被爆体験講話はオンラインで行いました。

令和4年度実績：米国・ホノルル市（ハワイ大学マノア校ハミルトン図書館）
3月1日～3月31日（2,254人来場）

若者による平和ネットワーク構築プログラム

アジアの若者による平和ネットワークの構築・拡大を目指し、平成22年度から実施しています。

令和4年度は、対象国を拡大し、「若者による平和ネットワーク構築プログラム」と改称し、国内外の参加者を招き、3年ぶりに対面で開催しました。「Knowing the other side 他者を知る」をテーマに、社会と世界に向けた平和の発信を意識したプログラムを実施しました。

令和4年度実績：2月18日～19日 参加者：海外及び留学生、日本人学生（広島、沖縄、長崎）30人

国際平和映画祭の開催

映画を通じて平和の大切さや被爆の継承について考える契機として、原爆や平和をテーマにした映画を上映します。

令和4年度は、3作品を上映したほか、平和祈念特別企画としてウクライナ出身の歌手を招き、コンサートを行いました。

令和4年度実績：11月6日
上映作品「ゴジラ」「神父とシスターと爆弾」「エセルとアーネスト ふたりの物語」

「被爆の実相の伝承」のオンライン化・デジタル化事業の実施

長崎大学校兵器廃絶センター（RECNA）に委託し、祈念館が所蔵する被爆者の体験記等をデジタル化し、学生向けの教材としてインターネットで国内外の大学に提供するなど、若い世代への被爆の実相を伝える取組みを実施しました。

令和4年度は、令和3年度に収集した「被爆前の長崎」の写真を活用した平和教育教材を制作し、「航空写真アーカイブ」とともに、広く利用してもらうためにホームページ「被爆前の日常アーカイブ」を開設しました。

被ばく医療関連情報の収集・整理・提供（被爆者健康講話）

長崎大学医歯薬学総合研究科（原爆後障害医療研究所国際保健医療福祉学研究分野）の協力のもと、被ばく医療研究の成果として、高齢となる被爆者の健康維持に資する情報を親しみやすいテーマにして提供しています。

令和4年度は、8月から対面とオンラインによるハイブリッド形式での講話を再開し、計7回講座を録画したものを祈念館ホームページに掲載しました。



Ⅲ 収益事業（図書など販売）

平和推進事業の実施に必要な自主財源を確保するために、原爆に関する書籍や平和グッズを作製し、原爆資料館の売店、協会Shopサイト、市内の書店で販売しています。

令和4年度には、新たに「Peaceなねこ」シリーズで、Tシャツ、エコバッグ、クリアホルダーを作製し販売しました。また、協会Shopサイトを全面的にリニューアルし、クレジットカードや電子マネー決済を導入しました。



【協会発行の出版物・オリジナル商品など取扱商品一覧】

- 書籍
 - ・原爆被爆記録写真集
 - ・増補改訂版 長崎の原爆遺跡・慰霊碑ウォークマップ
 - ・長崎原爆資料館 資料館見学・被爆地めぐり「平和学習」の手引書（増補改訂版）
 - ・ながさき原爆の記録
 - ・ナガサキの記憶（中国語版）
 - ・ピーストーク（第8巻・第10巻）
- 商品
 - ・絵はがき（長崎原爆資料館）
 - ・折り紙
 - ・折鶴ストラップ
 - ・缶バッジ（2色）
 - ・キーホルダー（2種）
 - ・クリアホルダー（4色）
 - ・Tシャツ（龍柄2色・Peaceロゴ3色）
 - ・トートバッグ
 - ・ピンバッジ
 - ・マグネット
 - ・ミニタオル（あじさい柄2色・折鶴柄2色）
 - ・リストバンド
 - ・折り鶴再生紙商品（一筆箋・名刺台紙（2種）・A4用紙・A4賞状用紙・A6リングノート）
 - ・紙芝居「嘉代子桜」
 - ・ながさき平和学習ナビ
 - ・ピースTシャツ
 - ・PeaceなねこTシャツ
 - ・エコバッグ
 - ・クリアホルダー



Shopサイトは
コチラから

理事・評議員・監事について

令和4年度（令和5年3月31日）

理事長	調 漸	評 議 員	池本 仁史	評 議 員	藤原 泰子
副理事長	升本 由美子	//	大矢 正人	//	船本 貴之
//	三根 眞理子	//	紀伊 義孝	//	本田 勝一郎
理 事	石田 謙二	//	北野 健一郎	//	前田 和信
//	岩永 洋一	//	久保 純一	//	前田 孝志
//	岩満 由美	//	久保田 修寿	//	前田 徹
//	篠崎 桂子	//	桑原 伸良	//	松尾 恵子
//	田中 重光	//	小淵 義輝	//	森田 幸一
//	萩岡 幸洋	//	坂口 育裕	//	渡部 明
//	本田 魂	//	下田 智行	監 事	佐藤 宏文
//	真野 裕也	//	槌田 禎子	//	吉田 典史



公益財団法人 長崎平和推進協会 この一年の動き

4月

- 2日 被爆体験ビデオ試写会
- 7日 第1回 継承部会 総会
- 9日 「9日を忘れない」朗読会（毎月9日開催）
- 14日 家族・交流証言定期講話（毎月第2木曜日開催）
- 16日 永遠の会定期朗読会
- 21日 第1回 臨時理事会（書面決議）
- 24日 家族・交流証言定期講話（毎月第4日曜日開催）
- 29日 第7回 被爆体験の深化講座
「長崎の空襲の話」（継承部会）



「9日を忘れない」朗読会（4月9日）

5月

- 8日 第1回 市民対象碑めぐり（継承部会）
- 9日 第1回 臨時評議員会（書面決議）
- 14日 第1回 平和案内人全体会
- 17日 監査
- 24日 第1回 三役会
- 27日 第2回 通常理事会

6月

- 11日 国際青年平和交流事業発表・審査会
- 13日 第2回 定時評議員会・第1回 運営会議

7月

- 10日 少年平和と友情の翼 事前研修
- 21日 平和案内人 常駐ガイド中止（～9月28日）
- 23日 永遠の会 活動中止（～9月24日）
- 25日 被爆77年 ナガサキ原爆写真展
（写真資料調査部会）（～8月5日）



家族・交流証言定期講話

8月

- 2日 県外原爆・平和展（鳥取県米子市）（～14日）
- 8日 家族・交流証言定期講話（特別版）
青少年ピースフォーラム（～9日）
- 13日 「音楽と、朗読と、言葉で紡ぐ
ピーター・タウンゼントの平和への想い。」
- 18日 少年平和と友情の翼 沖縄研修（～20日）
- 24日 第3回 臨時理事会（書面決議）
- 25日 平和学習発表会
- 26日 第1回 継承部会 役員会
- 31日 第2回 継承部会 総会



「音楽と、朗読と、言葉で紡ぐ
ピーター・タウンゼントの平和への想い。」
（8月13日）



9月

- 3日 Music Garden Pray & Play ラウンジコンサート vol.1
- 8日 第3回 臨時評議員会（書面決議）
- 11日 第8回 被爆体験の深化講座
「戦争と子供たちの話」（継承部会）
- 17日 家族・交流証言 交流会
- 24日 平和の灯



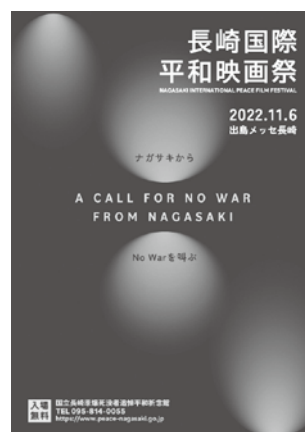
ラウンジコンサート（9月3日）

10月

- 8日 Music Garden Pray & Play ラウンジコンサート vol.2
- 22日 森田孝子氏書道展（～28日）
- 29日 市民のつどい

11月

- 6日 長崎国際平和映画祭
- 13日 青少年ピースボランティア 北九州バスツアー
- 19日 Music Garden Pray & Play ラウンジコンサート vol.3
- 26日 永遠の会定期朗読会



長崎国際平和映画祭
（11月6日）

12月

- 10日 第2回 平和案内人全体会

1月

- 7日 青少年ピースボランティア 沖縄研修（～9日）

2月

- 6日 大学原爆・平和展（国際基督教大学）（～10日）
- 9日 ウクライナ支援チャリティーコンサート～長崎から平和を～
- 18日 NPNシンポジウム（～19日）
- 23日 体験記企画展「ご遺影は語る」（～3月3日）
- 26日 青少年ピースボランティア 県外研修報告会
- 28日 平和案内人広島視察研修（～3月1日）



平和案内人広島視察研修
（2月28日～3月1日）

3月

- 1日 海外原爆展（～31日）
- 4日 国際青年平和交流事業成果報告会
- 5日 第2回 市民対象碑めぐり（継承部会）
- 7日 第2回 継承部会 役員会
- 13日 第2回 三役会
- 17日 第4回 通常理事会
- 28日 第3回 継承部会 総会



ハワイ原爆展

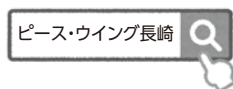


ピース・ウイング長崎
平和のあゆみ
(令和4年度 事業報告)

2023年5月発行

公益財団法人 長崎平和推進協会

〒852-8117 長崎市平野町7番8号
電話(095)844-9922 FAX(095)844-9961
URL:<https://www.peace-wing-n.or.jp/>





V・ファーレン ピースサポーター

長崎平和推進協会SNS



ウェブサイト



公式LINE



PEACE_WING0809
公式Instagram



公式YouTube



核兵器廃絶と世界恒久平和を目指して活動
を続けている当協会では、SDGsの目標16
「平和と公正をすべての人に」に取り組み、
みんなが安心して参加できる平和な社会を
作るべく、活動していきます。